

アリーナが割れんばかりの歓声につつまれた。
やった、やったよ、みんな！これが俺の本当の実力。
向かうところ敵なし！これなら一流、いや超一流の傭兵になれる。

「カッコよかったぞ。」
セレン姉さん。

「流石アタシの兄さんね、大好き！」
ベアトリス。

「ヨウヘイさん、見直しました。」
アイビス。

「やりましたね！槍杉さん！」
ネルさん。

「完敗だ...お前には負けたよ。」
ジナ。

「凄いわ、槍杉君！」
エクレールさん。

「目を覚ますんだ、槍杉君！」
ブレインウォッシュ先生？何を言っているんだ？
というか何で先生がここにいるんだ？
あれ？ここはどこだ？真っ暗で何も見えない...

うっ...眩しい...

「うっ...うう...」
身体が動かない、頭が重い...頭に変な装置が取り付けられているぞ。
何だコレ？ベッドの上？何で？どうなっているんだ？

「目を覚ましたんだね、実験は成功だ、やったぞ！」
ブレインウォッシュ先生...何を言っているんだ？...実験？
「こ...は...どう...っ...ている...ん...で...か？...上...く...話...ない...」
「上手く話せないんだね？そりゃそうさ、君は5年間も眠っていたんだから。」

はぁ？この人は何を言っているんだ？
俺はさっきまでS Pアリーナでザルトホックと戦っていたのに...
5年？5年間も眠っていた？

「混乱するのも無理はない、順を追って話そうか。
君はS Pアリーナの試合中に大怪我をしたんだよ。
怪我は治ったのに意識が戻らなくてね。」

そんな、馬鹿な...

「脳に異常は無かったんだ。でも君の意識は戻らなかった。
ご家族の方たちも焦燥しきっていてね、見ていられなかったよ。
そこで僕は実験中のある治療法を提案したんだ。」

やめろ、やめてくれ...

「楽しい夢を見せて脳を活性化させる、夢治療っていうんだけどね。
その頭に付いてる装置で擬似的な夢を作って見せるんだ。
夢の中で相手が”止まって見えた”でしょ？あれは僕が考えたんだよ。

ちゃんと名前も付けてある。『ステイシス』っていう能力なんだけど
どうだった？凄くかっこよかったでしょ？」

「うわああああああああああああああああああああああああああああああ...」

- E N D -

隊長とトロットの説教部屋

隊長「相手の力量を見誤ったな。」
トロット「見誤りましたね、隊長。」

隊長「自分の力を過信したな。」
トロット「過信しましたね、隊長。」

隊長「まさかの夢オチだったな...」
トロット「夢オチでしたね、隊長。」

隊長「かなり悲惨だから、今回はあまり苛めるのは止めておくか。」
トロット「隊長は慈悲深いですね。」

隊長「BADネタに困った結果がこれらしい...」
トロット「死亡ENDよりもねちっこくて、悲惨ですね。」

隊長「未来を変える為に...さあ、戻ってやり直せ。」